

事例1



妊娠に関する理解

制度を利用しやすい
職場づくり

休憩場所の配慮

取組のPOINT

- いち早くコース別雇用制度を撤廃し、総合職や一般職の区分がなくなり、女性がキャリアアップできる体制づくりを進めている
- 妊娠した女性労働者の体調に合わせて柔軟に対応。育児中の短時間勤務制度も充実させている
- 各種制度の周知・教育により、周囲の理解を得やすくしている

◆ 人事・労務管理担当者

女性活躍推進の職場環境の整備について

業界に先駆けてコース別雇用制度の撤廃 女性管理職7.5%に

2003年に建設業としていち早く総合職、専門職、一般職のコース別雇用制度を撤廃し、管理区分を「職員」のみとした。旧一般職の女性も活躍の場が広がり、現在、女性管理職の割合は7.5%と建設業大手ではトップの水準となっている。

母性健康管理の社内制度の状況

妊娠中でも働きやすいよう柔軟に対応 短時間勤務は法定以上の規程

結婚や妊娠、出産、育児などのライフイベントを迎えても女性がキャリア形成できるよう、各種制度を整備しており、妊娠・出産による退職者は0%となっている。

他にも妊婦健診へ行く際は半日単位で通院休暇を取得可能、通勤緩和のため始業・終業時刻の変更、休憩時間を本人の希望で変更可能(本人の申出を受けてから承認する)と、体調に合わせ、柔軟に対応している。

育児休業から復帰後も育児と仕事を両立しやすいよう、短時間勤務は複数のパターンから選択でき、取得可能期間も「小学校3年生の年度末まで」と法令よりも長く設定している。

母性健康管理の社内制度の周知方法

周知活動と風通しのよい職場で制度を利用しやすく

制度の周知・理解を進めるため、妊娠・出産等に関するハラスメント防止措置を強化しており、全従業員を対象としたeラーニングを実施したり、現場所長対象のハラスメント防止研修を開催。また、各支店に相談窓口を設置した。

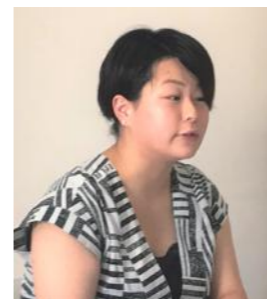
女性労働者が産休、育休を経て、復職する流れは自然であり、職場では「育児休業を取って、職場に戻ってきてね」という雰囲気であり、正社員だけではなく、パートタイム労働者も育児休業を利用している。

子育てをしながら活躍する先輩の存在は、若手のロールモデルとなり、励みになっている。



写真左:人事部企画課 課長 古枝 正好さん
同右:人事部企画課 副課長 富澤 薫さん

◆ 女性労働者



大阪本店
建築事業部 生産設計部
生産設計第四課

小松 愛さん

職務内容	現場監督として勤務中に妊娠。妊娠報告後もできる範囲で業務に従事し、その後、生産設計部へ異動。
雇用形態	妊娠前・妊娠中・出産後 いずれも正社員
労働時間 ※末子妊娠時	妊娠前 7:45朝礼(残業あり) 妊娠中 8:30~17:15 出産後 8:30~17:15
お子さんの年齢	1歳(ヒアリング当時)
休業期間	産前:6週間 産後:8か月(保育園に入れてから)

妊娠中の職場からのサポート

現場監督としての妊娠 周囲は祝福

大規模な現場で現場監督をしていたときに妊娠が判明した。女性現場監督の妊娠は初めてという職人も多く、妊娠を報告すると驚かれたが、素直に喜んでくれた。周囲に迷惑をかけてしまうのではないかとという申し訳なさがあったが、事務所の雰囲気がとてもよく、仕事上の人間関係で悩むことは一切なかった。上司から気遣う言葉をかけてもらったり、通院日と出勤日が重なったときは同僚が快く交代してくれるなど、周囲のサポートに助けられた。

妊娠中の休憩

気がねなく休憩できる現場 急な入院は「積立保存休暇」を利用

女性の事務員や作業員がいることもあり、現場にはカーペット敷きの女子更衣室(冷暖房つき)、中に女性用トイレ、化粧台が設置されており、女性に配慮された設備が整っていた。周囲が理解を示してくれていたため、妊娠中、具合が悪くても気がねなく更衣室で横になり、休憩することができた。

また、体調不良で2週間入院することになったときは、母健連絡カードを会社へ提出し、積立保存休暇を利用して休んだ。

妊娠・出産を経て働き続けることについて

子育てをしながら現場で働ける雰囲気を作りたい

周囲のサポートや充実した設備がある中でも、周囲に何もかも頼るのではなく、自分でできることは、できる範囲で行おうと心がけていた。妊娠報告後、現場に出て働けない分、事務所内でデスクワークに専念して、逆に自分がサポートするんだという意欲を示し、周囲にもその気持ちが伝わった。

入社当時から現場に出ることを希望していたため、育児中の現在も現場に戻りたくてうずうずしている。しかし、朝礼の時間が早い、拘束時間が長いなど現場に出る上で課題が多いのが現状。今後は子育てをしながら現場で働けるよう、社内だけではなく、業界全体でいい雰囲気を作っていきたいと考えている。

会社概要

株式会社大林組 <http://www.obayashi.co.jp/>

所在地: 東京都港区港南2-15-2

業種: 一般土木建築工事業ほか

規模: 従業員数11,614人(うち女性2,271人)

※平成29年4月現在 契約社員・パート・派遣社員含む

- 妊娠・出産による退職者割合:0%
- 育児休業取得者割合
(女性):97.1% (男性):0.4%

